

事務事業名	宿泊・観光消費喚起支援事業		所属部	産業観光部	所属課	観光振興課
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	観光振興グループ	課長名 高橋 司
	施策名	(36)観光の振興		担当者名	桑原 真由美	電話番号:0854-40-1054 (内線):2432
	目的・対象	A)市外の人 B)市民	意図	A)市内で観光を楽しんでもらい、消費してもらう。 B)観光情報を発信する。		
	基本事業	(104)観光情報の発信		予算科目	0:1355:0 0:5100:8	大事業:大事業 中事業:中事業 業名:新型コロナウイルス感染症対策事業 業名:宿泊・観光消費喚起支援事業
目的・対象	市内外の人	意図	観光情報を得る。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市内外の人、観光客	雲南市を訪れ宿泊及び観光消費をしてもらう。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返( 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度( 年度～ 年度 )	コロナウイルス感染症の影響で宿泊及び観光消費が大きな影響を受けたことから、宿泊・観光・タクシー等で利用できるクーポン券を発行。第1期の予約受付を6月から行い7月に予約目標に達し、引き続き消費拡大支援が必要であったため、一部内容を見直し第2期を実施した。 【第1期】 R3年7月1日～10月31日、【第2期】 R3年11月1日～R4年1月31日 【財源】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
市内宿泊施設において、1人1泊5,000円(第2期は6,000円)以上の宿泊に対し、宿泊施設で2,000円、観光施設、タクシー等で2,000円利用可能なクーポン券を発行。 【宿泊者数】2,570人(第1期:1,055人、第2期:1,515人) 【クーポン利用実績】9,604枚(第1期:4,064枚、第2期:5,540枚)	コロナの影響で宿泊及び観光消費が大きな影響を受けたことから、宿泊・観光・タクシー等で利用できるクーポン券を発行することで消費喚起を促す。第1期の予約状況や感染状況等を見ながら検討した結果、継続した支援が必要であるとし、内容を見直したうえで第2期を実施した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 観光入込客数	千人	1,457	986	933	1,085
イ 観光消費額	百万円	3,555	2,006	1,952	2,770
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
・委託料 14,494千円	財源内訳	国庫支出金	千円			14,494
【内訳】		県支出金	千円			
宿泊利用分: 8,177千円(商工会)		地方債	千円			
観光消費分: 6,317千円(観光協会)		その他	千円			
		一般財源	千円			
	事業費計	千円	0	0	14,494	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	消費者ニーズをとらえた事業であり、キャンペーンの開始に伴い多くの問い合わせがあった。クーポン券の主な利用先である道の駅の消費喚起につながった。
② 事業実施するうえでの課題	宿泊利用が一定の施設に偏った傾向にあった。また、第2期に向けた準備期間が短く、制度告知が不十分な部分も見受けられた。
③ 課題解決に向けた改革改善等	国、県の対応及びコロナウイルス感染状況等を注視しながら、観光消費の促進に取り組む。併せて、宿泊事業所の機運醸成に向けた支援なども行う。